

つなぐ技術で、あなたに喜びを

BUFFALO™

ピックアップ導入事例

東京支社の新事務所にWi-Fiネットワークを導入。
約80名のスタッフが商談室から倉庫までシームレスに
パソコンを使える環境を構築し業務を効率化

株式会社はるやまホールディングス 様

株式会社はるやまホールディングスは、2017年に開設した東京支社に、Wi-Fi(無線LAN)アクセスポイント「WAPM-1266R」を導入。事務所・会議室・応接室・倉庫など支社内のすべての場所でWi-Fiを利用できる環境を整えました。これにより、同支社にデスクを置くはるやま商事株式会社、株式会社テット・オム、株式会社BASEの3社の販売管理、事務管理、拠点間通信、インターネット通信などの業務を効率化。ネットワーク管理には集中管理ソフトウェア「WLS-ADT」を使用し、他の事務所で導入済みの「WAPM-1166D」とともに、岡山県の本社から一括管理を行っています。

●取材協力 リコージャパン株式会社



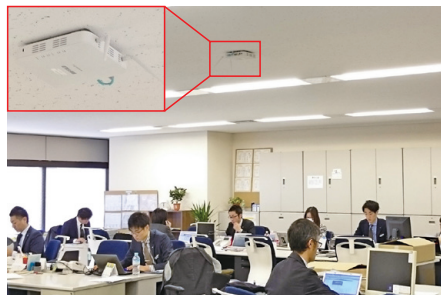
(中央左) 株式会社はるやまホールディングス 総務部システム課 課長 湯浅俊和氏 (以下、湯浅氏)、(中央右) リコージャパン株式会社 岡山支社 岡山第二営業部 依藤知東氏 (以下、依藤氏)、(右) 池田政義氏 (以下、池田氏)、(左) 榎崎哲也氏 (以下、榎崎氏)

支社内のすべての場所で ネットワークが利用できる環境を

はるやまホールディングスは、業務効率化のため、東京支社を東池袋から西五反田へ移転。そこに子会社2社を併設した新事務所を開設しました。それに伴い、業務用のWi-Fiネットワークを構築しました。Wi-Fiアクセスポイントには、すでに他の事務所で導入実績のあった「WAPM-1166D」の後継モデル「WAPM-1266R」を採用。東京支社内のすべての場所でネットワークが利用できる環境を整え、新事務所における業務を開始しました。

新事務所のネットワーク整備を担当したのが、システム課の湯浅氏。普段は販売システムなど、社内システムの開発と管理運営を行っています。

「新事務所は、ビルの5階と4階の2フロア。5階では、はるやま、テット・オム、BASEの3社をあわせて80名ほどのスタッフがノートパソコンを使って仕事をします。また4階は倉庫と応接室、商談室で、ここにもノートパソコンを頻繁に持ち込みます。Wi-Fiを導入することにより、4階・5階のどの場所にも移動しても、シームレスにパソコンを利用できるネットワークにしようと考えました」(湯浅氏)



東京支社5階事務所の天井に設置された「WAPM-1266R」。販売データ分析などの通常業務をはじめ、拠点間会議、事務管理などに活用されている

最大同時接続台数が増え、機能も充実 した『WAPM-1266R』を採用

湯浅氏がWi-Fiネットワークの計画と工事を依頼したのは、既存の店舗や事務所のWi-Fiネットワークも担当しているリコージャパン株式会社。依藤氏、池田氏、榎崎氏の3名でプロジェクトチームを組み、Wi-Fiアクセスポイントの機種選定や設置場所の検討などを行いました。

「Wi-Fiアクセスポイントは、岡山本社や事務所・店舗で採用実績のあるバッファロー製品の採用をご提案しました。同じバッファローの法人向け製品で統一することで、これまでと同様に集中管理ソフトウェア『WLS-ADT』で一括管理ができるというメリットもありました。」(依藤氏)

「他の事務所で採用実績のある『WAPM-1166D』の後継製品として『WAPM-1266R』が発売され、このモデルの採用を前提に計画を進めました。最大同時接続台数が『WAPM-1166D』の50台から128台に増えたこと、『DFS障害回避機能』が搭載されたこと、保証期間も最長5年※に延長され、様々なメリットがあり、とてもお値打ちなモデルだと思います。」(池田氏)

安定した11acへ切り替えることで 電波障害の回避に成功

「Wi-Fiアクセスポイントの設置場所については、バッファローさんに電波環境調査を依頼し、その計測結果をもとに計画しました。」(榎崎氏)

設置台数と設置場所は決まりましたが、電波環境調査で発覚したことがあったといいます。

「フロアの一部で外部からの強いノイズが検出され、IEEE 802.11n/g(以下、11n/g)で利用する2.4GHz

帯の通信が安定しないことがわかりました。はるやまさんではこれまで、使用する規格を11n/gのみに統一していましたので、IEEE 802.11ac(以下、11ac)など5GHz帯のWi-Fiはオフに設定していました。東京支社でも同様の設定にする予定でしたが、最近導入した業務用パソコンが11acに対応していたこともあり、5GHz帯と2.4GHz帯を両方使用できるように設定しました。」(依藤氏)

販売データの分析をはじめ、 様々な業務にネットワークを活用

東京支社の新事務所は、Wi-Fiネットワークの工事も無事完了し、ノートパソコンを使った業務が始まりました。

「Wi-Fiに接続された業務用パソコンの主な用途は、全店舗の販売データのチェックと分析。これが今後の販売計画や企画、商品開発などに活かされます。常に最新の情報が本社と東京支社に1台ずつあるファイルサーバーに保存され、必要に応じてそれぞれにアクセスしながら業務を行っています。他にもグループウェアによる情報共有、拠点間のテレビ会議・社内チャットの利用、伝票処理などの事務管理など、多くの業務にWi-Fiネットワークが使われており、これなしでの業務運用は考えられないといえるほど重要なインフラです。」(湯浅氏)

岡山本社の管理用パソコンから一括管理

「ネットワーク機器の管理は、岡山本社の管理用パソコンから集中管理ソフトウェア『WLS-ADT』で行いますので、東京支社に管理スタッフを置く必要はありません。本社と東京支社は専用線で接続されており、本社の管理用パソコンから『WLS-ADT』で直接、東京支社の『WAPM-1266R』を遠隔監視が可能です。設定変更やその後の再起動、ファームウェアアップデートなどを行う際も、すべて本社の管理用パソコンからメンテナンスでき、手間がかからず助かります。」と、湯浅氏は語りました。

導入製品



エーステーションプロ インテリジェントモデル
11ac/n/a & 11n/g/b 法人向け
無線LANアクセスポイント

WAPM-1266R



無線LANシステム
集中管理ソフトウェア
WLS-ADT

※5年保証を受けるには、本製品購入後エンドユーザーによる30日以内のユーザー登録が必要です。

株式会社 **バッファロー**

ホームページでさらに詳しい情報を発信中

buffalo.jp/jirei



QUICK!
ナンバー
の使い方

0041

検索

バッファローホームページの検索ウィンドウに
ナンバーを打ち込み、検索ボタンをクリックしてください

※掲載されている各製品名は一般に各社の商標または登録商標です。※デザイン・仕様等は改良のため予告なしに変更する場合があります。※記載されている価格は希望小売価格です。